

ポイント

◆◆特集◆◆

★大型車両の通行を誘導すべき道路の区間の指定等について★

(国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室)

平成25年6月における道路法の改正により、大型車両の通行を誘導すべき道路の区間の指定と、当該区間を経路とする通行に係る許可手続の国土交通大臣による一元的な実施について規定された。

本稿においては、その制度趣旨・概要のほか、関連政省令の改正内容等を紹介する。

◆◆道路法令Q&A◆◆

★道路供用開始の手続きと道路法第90条について★

(国土交通省 道路局 路政課)

道路供用開始の手続きと道路法第90条について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★阪神高速開通50周年★

～これまでの「ありがとう」を これからの「サービス」へ～

(阪神高速道路株式会社)

阪神高速道路は、昭和39(1964)年6月28日に大阪1号線(現在の1号環状線)土佐堀～湊町間2.3kmが開通して以来、平成26(2014)年で50周年を迎えます。

本稿では、阪神高速の設立の経緯やネットワーク変遷、また、阪神高速の更新計画やミッシングリンクの解消など、次の50年、100年に向けた取り組みについて、ご紹介いたします。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★道路占用事例の紹介★

～陸前高田市土地区画整理事業におけるベルトコンベヤ施設占用事例～
(国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 管理課)

陸前高田市の被災市街地復興土地区画整理事業において、高台造成地区から嵩上げが必要な地区にベルトコンベヤによる大容量土砂運搬設備を利用し、土砂を搬出するため、一般国道45号の上空を占用したいとして陸前高田市から道路占用許可申請がなされ、土砂の飛散、落雪・落氷、車両衝突対策等を考慮しながら許可した事例を紹介する。

.....

★福岡県における道路管理について★

～「九州北部豪雨災害」の復旧状況、路面下空洞調査、
雨量通行規制、道路照明灯のLED化、さわやか道路美化促進事業～
(福岡県 県土整備部 道路維持課)

福岡県における道路管理の取組みとして、「九州北部豪雨災害」の復旧状況、路面下空洞調査、雨量通行規制、道路照明灯のLED化、さわやか道路美化促進事業について紹介する。

.....

★「日本一住みやすいまち・久留米」を目指して★

『都市計画道路 東合川野伏間線整備事業』
(久留米市 都市建設部 広域道路対策課)

久留米市では、「日本一住みやすいまち・久留米」を目指し、国、県、市で連携して市内の交通を円滑に処理することを目的とした幹線道路網の整備に取り組んでいます。今回、幹線道路網を形成する都心環状道路の1つであり、今年3月に全線開通した「都市計画道路 東合川野伏間線」を紹介します。

◆◆編集後記◆◆

♪新しい朝がきた 希望の朝だ 喜びに胸を開け 大空あおげ♪

この歌を聴くと、夏休みに参加していた“ラジオ体操”を思い出します。当時、町内会の主催するラジオ体操は、朝6時30分からだったので、朝寝坊できるはずの夏休みに、小学校に通学するよりも早い時間に起きなければならず、近所の公園にしゅしゅ集合していました。振り返ってみると、出席カードのスタンプを貯めるともらえる“お菓子”を目当てに参加していたような気がします。

ラジオ体操は、正式名称を「国民保健体操」といい、昭和3年に旧通信省保険局によって考案されたものです。アメリカの生命保険会社が、保険加入者の健康維持を目的とした健康体操をラジオで放送していたことを参考に、日本でも、国民の体力向上及び健康の保持・促進を図ることが必要であるという考えから導入されました。その後、2度の改良が重ねられ、昭和26年に現在のラジオ体操（3代目）が誕生しました。ちなみに、夏休みにラジオ体操をするようになったのは、「子供たちに規則正しい生活が身に付くように」と、昭和5年に東京・神田の警察署の発案によって始まり、次第に全国に広がっていきました。

健康維持を目的としているラジオ体操には、第1、第2、第3の3種類があります。「第1」は、老若男女を問わず誰でもできることにポイントがおかれた体操で、体全体の筋肉や関節をバランスよく動かすことができるように構成されています。「第2」は、働き盛りの人が職場で行うことを想定した体操で、筋力を強化することにポイントがおかれ、ダイナミックな動きが特徴となっています。「第3」は、第1・第2と比べて動きが複雑でテンポが速いため、ラジオ放送ではその動きを伝えることが難しく、わずか1年半しか放送されませんでした。このことから“幻のラジオ体操”とも呼ばれていますが、最近では、映像を用いて伝える環境が整ったことで、複雑な動きでも取り入れやすくなり、メタボリック予防が期待できる体操として再び注目されています。

夏休みの思い出から“朝”に行うイメージが強いラジオ体操ですが、それには理由がありました。人は、目覚めてから何もしない状態だと、脳の覚醒までに3時間ほどかかるといわれています。起きてからほどなく体全体を動かすと、脳の覚醒が速くなり、家事や仕事の効率が上がるそうです。ラジオ体操は、健康の維持だけでなく、脳の覚醒効果によって、朝の時間の有効活用に役立つようです。小学生の頃、しゅしゅ参加していたラジオ体操でしたが、しっかりと体を動かしていれば、午前中をダラダラ過ごすことなく、また、夏休みの宿題を早めに終わらせることができたかもしれません。(K)